

OKINAWA GENERAL CONTRACTORS ASSOCIATION

沖建協会報



令和3年

No.616

9
月号

今月号の主な内容

- ◆ 県のエッセンシャルワーカーワクチン接種に参加
- ◆ 沖総局と意見交換を実施
- ◆ 全建から社会貢献活動功労者表彰を受賞



目次

<NEWS>

県の防災協定に基づくエッセンシャルワーカー接種に参加……	1
浦添市に飲料水を寄贈……	2
中部地区医師会に飲料水寄贈……	2
沖総局と意見交換を実施……	3
全建・社会貢献活動推進月間功労者表彰を受賞……	4
高校生が建機操作を体験通して学ぶ……	5
高校生を対象に4級経理事務士特別研修……	5
1級土木・建築施工管理2次試験講習会を開催……	6
支部活動報告……	7
那覇支部が新都心地区をパトロール	
那覇支部が安全なまちづくり功労者受賞	
南部、那覇、北部支部でCPDS講習会開催	
浦添・西原支部が二度目の飲料水寄贈	
青年部会がフォトコンテストへの応募呼びかけ(9月10日締切)	

<メッセージボード>

建設現場における熱中症予防と 新型コロナウイルス感染防止……	10
-----------------------------------	----

<お知らせ>

西日本建設業保証からのお知らせ……	12
-------------------	----

<建設雇用改善コーナー>

人材開発支援助成金の案内……	13
----------------	----

<Message～後輩たちへ>……

<事務局から>

協会の動き……	15
今後の日程……	15

<会員の異動>……

<表紙写真>

【青年部会第12回フォトコンテスト
～島の魅力～優秀作品より】

〔人の部 入選〕

題 名：鉄塔マン
撮 影 者：根路銘 安郁
撮影場所：宮古島市

県の防災協定に基づくエッセンシャルワーカー接種に参加 会員企業から2500人規模

沖建協では8月5日から、県の実施する新型コロナウイルスのエッセンシャルワーカーワクチン接種に参加。会員企業の社員など約2500人が接種を受けた。

沖建協では、新型コロナ感染拡大防止と夏場の熱中症対策の観点から、6月末から会員企業を対象に職域接種の希望を確認。約9800人規模の接種準備を進め、接種会場としては浦添市がカルチャーパーク駐車場に整備した集団接種会場を確保。ワクチン接種を行う医療従事者については中部地区医師会からの協力を取り付け、あとは国からのワクチン供給待ちとなっていた。

一方で、全国的にワクチン供給が滞るなか、県が防災協定・防疫協定を結んでいる沖建協をエッセンシャルワーカーとして認定。早急な接種が重要であることから、県の接種に加わることとなった。これを受け、沖建協では改めて接種希望の確認を行い体制を再構築。5日から那覇クルーズターミナルでの接種がスタートした。8月11日からは宜野湾市のコンベンションセンターでの接種も行われた。

市町村での接種も進んだこともあり、接種希望者は3000人弱となり、各会場で1回目の接種を受けた。接種参加者からは「感染拡大が続いているなか、市町村での予約ができなかったので接種できて良かった」といった声が寄せられた。また、市町村からの接種券が届いていない年代でも接種が可能なおかげで、若い職員・技術者が参加する様子も見られた。

沖建協では、ワクチン接種を進めることで安心して働ける職場環境を確保するほか、重症化を防ぐことで医療現場の負担軽減を図るとしている。



クルーズターミナルでは那覇支部・南部支部が対象となった



クルーズターミナルでの接種を待つ参加者



浦添・西原支部以北の会員はコンベンションセンターでの接種となった



接種を前に受付を待つ参加者

浦添市に飲料水を寄贈

沖建協の津波達也会長、名嘉太助浦添・西原支部長、源河忠雄専務理事らは8月5日、浦添市役所に松本哲治市長を訪ね、飲料水100ケース(500mlペットボトル2400本)を寄贈した。

津波会長は「ワクチンの集団接種に関わる医療従事者や市職員の皆様に感謝を込めて、飲料水を寄贈させていただく。熱中症対策などにも活用してほしい」と話した。

松本市長は「皆様からのお気遣いに感謝している。有効に活用して感染拡大防止に努めていく」と謝意を示し「浦添市は、全年代で1回目のワクチン接種率が32.4%となっており、比較的早いペースで進んでいる。9月以降、できるだけ早く進められるよう調整していきたい」と話した。

沖建協では6月から、コロナウイルス感染拡大防止に向けて、会員を対象にした職域接種の実施に向けて準備を進め、その会場として、浦添市の広



松本市長(右から3人目)に飲料水を寄贈した
沖建協の津波会長(同4人目)ら

域接種会場の使用を松本市長に打診。快諾を受けていた。国からのワクチン供給が遅れるなか、県の実施するエッセンシャルワーカー接種に参加することになったことから、浦添市にこれまでの協力・理解への感謝と医療従事者への支援として飲料水を寄贈した。

中部地区医師会に飲料水寄贈

沖建協の源河忠雄専務理事、久高唯和総務部長は8月23日、沖縄市の(一社)中部地区医師会検診センター・中部地域産業保健センターを訪ね、医療従事者に飲料水50ケース(500mlペットボトル1200本)を寄贈した。

沖建協が計画していた会員企業向けの職域接種に際して、ワクチンの打ち手として中部地区医師会が協力を確約。その後、県のエッセンシャルワーカー接種に参加することになったことから、協力辞退の報告と医療従事者への感謝と支援として今回の寄贈となった。

寄贈に際して源河専務は「建設現場における熱中症対策、コロナウイルス感染拡大防止を講じるなかで、医療現場のひっ迫にも懸念を持っている。重症化を防ぐワクチン接種に協会も積極的に取り組んでおり、医療従事者の皆さんには感謝している。拡大防止の最前線にいる皆さんの支援に



仲宗根課長(中央)に源河専務(左)と久高部長から
飲料水と目録が手渡された

なればと思う」と挨拶した。

対応した同センターの仲宗根安史営業課長は「ワクチン接種やPCR検査などの従事者は非常に過酷な状況にあり、飲料水の寄贈は多くのスタッフが喜んでいました。皆様のご厚意に感謝している」と謝辞を述べた。

沖総局と意見交換を実施

～週休2日工事、CCUSの更なる推進など議論～



建設業に関する様々な議題について意見を交わした

沖建協は7月26日、那覇第二地方合同庁舎2号館で沖縄総合事務局との意見交換を行った。

建設業界や建設行政の抱える課題について、双方が率直に意見を交わすことを目的に開催されたもの。今回の議題は「週休2日工事の更なる推進」「遠隔臨場の更なる推進」のほか、意見交換のテーマとして①建設従事者の採用や人員確保の状況(女性及び若手技術者)②民間工事の受注環境③事業執行上の懸案事項④働き方改革(週休2日や超勤実態など)などが提示された。

意見交換に先立ち沖総局の岩田美幸次長はコロナ禍のなか、予算の着実な執行やCCUS、遠隔臨場などが求められている点を指摘。沖建協の津波達也会長は、コロナ禍で観光産業を中心にダメージを受けているが、着実な公共投資で建設業が稼動することが重要であり、さらにコロナ収束後に向けた施設整備を進めていく必要があるとした。

沖総局からは岩田次長、安仁屋勉技術企画官、赤沼隼一技術管理官、上原功総括技術検査指導官、宮城一正技術管理課長らが出席。沖建協からは津波会長、新里英正副会長、仲本豊副会



挨拶する岩田次長

挨拶する津波会長

長、呉屋明副会長らが出席。双方が率直な意見交換を行った。

はじめに、沖総局が「週休2日工事、遠隔臨場」について情報を提供。意見交換では「建設従事者の採用や女性及び若手技術者の人材確保」、「民間工事の受注状況」「建設資材の確保状況」「働き方改革」に関して報告が行われ、関連事項について活発な意見が交わされた。

このほか沖総局が「CCUSの更なる推進」の説明を行い、協会は「現場における課題」について会員の意見を取りまとめた資料を提出し、課題解決に向けた協力を求めた。

全建・社会貢献活動推進月間功労者表彰を受賞

～CSF(豚熱)発生に伴う防疫措置対応～



表彰を受ける津波会長(左)

7月13日に経団連会館(東京都)で開催された建設業社会貢献活動推進月間中央行事(主催・(一社)全国建設業協会)で、沖建協が建設業社会貢献活動功労者表彰を初めて受賞した。各都道府県協会等が取り組んでいる優れた社会貢献活動の表彰を行い、建設業に対する理解を深めるもので、今年は全国の36団体が表彰された。

沖建協の表彰は、2020年1月から3月まで実施した「CSF(豚熱)発生に伴う防疫措置対応」が対象となった。

表彰に際しては、全建・九州ブロック会長県の(一社)大分県建設業協会が推薦・申請した。申請書では「2020年1月の発生から3月まで、県との協定に基づき、先遣隊の派遣、埋却地の確保、現地調査、運搬、埋却、消毒などの支援業務を実施したこと」「県からの要請を受け、会員企業を中心に年度末の繁忙期の人員確保も厳しい状況下で930人を動員して埋却作業を完了したこと」「3月以降も発生がないか、出動態勢を整え注視していたこ



CSF(豚熱)発生時の防疫活動の様子

と」「4月14日の移動制限区域解除をうけ、県知事より収束宣言が行われたこと」を理由としている。

13日に行われた表彰式には津波会長が出席して、表彰状を受け取った。表彰式ではこのほか、社会貢献活動の事例発表なども行われた。

高校生が建機操作を体験通して学ぶ

沖建協と建設業労働災害防止協会沖縄県支部は、7月27日から8月18日にかけて、県内各地で「高校生対象小型車両系建設機械運転特別教育」を共催で実施した。

県内の高校生を対象に建機の操作について、学科・実技を通して、建機の装置・構造及び取り扱い、実際の作業方法を学ぶもの。7月27・28日は沖縄市海邦町の建設業安全衛生技術センター。8月17・18日は宮古島市内で開催された。八重山地区と本島地区(2回目)の開催はコロナウイルス感染拡大防止等の観点から中止となった。

特別教育は沖建協が受講料の一部を支援して実施しているもので、今年は約80人の生徒が受講した。特別教育は、建設業の人材育成・確保に向けて、資格取得や安全知識の習得により就職活動を支援することを目的に実施しているもので、2日間参加した高校生には修了証が授与される。



点検項目を指差し呼称しながら確認する生徒



宮古島で行われた実技の様子

高校生を対象に4級経理事務士特別研修

8月2日から3日まで、浦添市の建設会館と建設労働者研修福祉センターで令和3年度工業高校生対象建設業経理事務士特別研修が行われた。

県内の工業高校生徒で建設業への就職を希望する3年生を対象に実施されたもの。沖建協が受講料を一部支援し、研修には52人が参加した。参加者が多かったことから2会場に分けて実施。講師は伊計孔雄氏と上原義文氏が担当した。

2日間の研修では検定試験のポイントなどを解説。最終日には4級検定試験が行われた。参加者からは「難しいけど、説明があって何とか分かった」「講師の解説が分かりやすかった。試験も頑張って合格したい」等の感想があった。

検定試験の結果は、2週間程度で通知され、希望者は3級検定の特別研修も受講できる。



希望者が多かったことから2会場で行った

1級土木・建築施工管理2次試験講習会を開催

〔土木〕

令和3年度1級土木(2次)施工管理技術検定試験受験準備講習会が8月16・17日の2日間、浦添市の沖縄建設労働者研修福祉センターで開催された。

講習会は、10月3日に実施される1級土木(2次)施工管理技術検定試験の合格に向けて開催されたもので、18人が受講した。

講習会では池田優氏と宮城敏明氏が講師を務めた。池田氏は安全管理、施工計画・建設副産物、施工経験記述について解説。宮城氏は土工、コンクリート、品質管理について解説した。受講者はテキストを見ながら、講師の解説を聞き、ポイントを書き込むなど、試験対策に取り組んだ。



2次試験に向けた対策を講じた



講師を務めた池田氏(左)と宮城氏(右)

〔建築〕

令和3年度1級建築施工管理技術検定試験(2次)受験準備講習会が8月18・19日の2日間、浦添市の沖縄建設労働者研修福祉センターで開催された。講習会は、10月17日に行われる1級建築施工管理技術検定二次試験の合格を目指して開催されたもの。講習会では比嘉良忠氏が1日目、玉城保氏が2日目の講師を務めた。講習会には16人が参加した。

講習会では、比嘉氏が建築施工(躯体)・建築施工(仕上げ)と法規、玉城氏は施工管理と施工経験記述についてテキストの解説などを行った。

比嘉氏は「テキストのポイントをどんどん紹介していく。複数のマーカーで重要な箇所や注意すべき点について、色違いのマーカーを引きながら学んでほしい」と短い時間で効率よく学ぶためのポイントを紹介。玉城氏はホワイトボードにスライドを映しながら、問題の注意点などを解説した。



講義のポイントを説明する比嘉氏



玉城氏はスライドを活用して解説した

■那覇支部が新都心地区をパトロール

那覇支部(長山宏支部長)は7月30日、市内の銘苅・安岡地区で防犯パトロールを実施した。

那覇支部による防犯パトロールは、那覇警察署からの委嘱を受けて実施しているもので、13回目となる今回は北分会のメンバーが参加した。

参加者は業務終了後の午後7時半、なは市民協働プラザ前に集合。今回は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、従来のセレモニー等を省いて実施した。

参加者は沿道で見かけた子どもたちに気さくに声をかけることなどを念頭にパトロールを実施。ルートを各自がチェックしたあと、2班に分かれてパトロールに出発し、1時間弱をかけてルート周辺のパトロールを行った。



パトロール前にルートを確認した

■那覇支部が安全なまちづくり功労者受賞

那覇支部(長山宏支部長)は8月12日、県子ども生活福祉部から「2021年度ちゅらうちなー安全なまちづくり功労者等表彰」を受賞した。

ちゅらうちなー安全なまちづくり推進会議では、犯罪のない安全・安心な沖縄県の実現を目指し、県民総ぐるみで取り組む「ちゅらさん運動」を推進しており、同運動に関する活動を継続して行っている個人・団体、寄付などによる支援で顕著な貢献があった個人・団体を表彰している。今年度は、個人功労18人、団体功労17団体、団体貢献5団体が表彰された。

那覇支部は、2017年に那覇警察署から防犯ボランティアの委嘱を受け、これまでに13回のパトロールを実施している。長山支部長は「年4回、声かけを中心に行っている。地域のことを大人がちゃんと見ているよというメッセージになることを心がけている。今後も地域の防犯につながると嬉しい」と今後の活動に意欲を示した。



県から贈られた感謝状をもつ長山支部長(中央)と伊志嶺副支部長(左)、黒島副支部長

支部活動報告

■南部、那覇、北部支部でCPDS講習会開催

令和3年度第2回CPDS講習会がオンラインで開催された。7月16日には南部支部、7月27日には那覇支部、7月30日には北部支部でそれぞれ、講習が行われた。

講習会は「プロが教える!安全の基礎知識」をテーマに①情報化施工②安全対策について講師がポイントを解説した。講習時間は6時間半でCPDSユニットは7ユニットとなっている。講師は合同会社クロソイドの戸所俊雄顧問が務めた。

講習会では、「建設現場の「安全対策」について」①建設業の労働災害の実情②建設現場の安全管理体制③「安全配慮義務」とは④欧米の安全管理の考え方⑤リスクアセスメントの重要性と管理手法⑥工事成績評定点における「安全対策」の留意点を解説。「建設現場の「生産性革命」について」①i-Construction概論②情報化施工技術について③現在活躍している主な技術④その他の期待される情報化施工技術についても説明が行われた。

このうち「建設現場の「安全対策」について」では、労働災害発生状況を分析。2019年度の建設業の災害発生状況については、死亡災害は大幅に減少していると、その要因としてリスクアセスメントへの取り組みなどを挙げた。またリスクアセスメントの重要性や導入メリットなども紹介した。

「建設現場の「生産性革命」について」では、i-Constructionが必要とされる理由や情報化施工が可能になった背景などを解説。i-Constructionの3つの柱として「ICT技術の全面的な活用(土工)」「規格の標準化(コンクリート工)」「施工時期の平準化」を挙げ、それぞれの現況などを紹介した。

南部支部の講習会は34人が受講。那覇支部は37人、北部支部は27人が受講した。



南部支部の講習には 34人が参加した



那覇支部の講習の様子



北部支部では 27人が受講した

支部活動報告

■浦添・西原支部が二度目の飲料水寄贈

浦添・西原支部(名嘉太助支部長)は7月29日、浦添市と西原町に飲料水を寄贈した。

新型コロナウイルス感染症予防のためのワクチン接種会場で働く医療従事者支援の一環で、5月に続いて2度目の寄贈。今回は、浦添市に飲料水(お茶・水)97ケース、西原町には飲料水(お茶・水)43ケースを寄贈した。

浦添市保健相談センターで行われた寄贈式で、浦添市の松本哲治市長は「これから夏本番を迎えるなか、2度目の支援をいただき、本当にありがたい。この厚意を受け止めて、接種をしっかりと進めていきたい」と謝辞を述べた。

西原町の崎原盛秀町長は「コロナ収束の見通しは厳しく先は長い。これからも支援が必要な時には遠慮なくお願いしたい」と御礼を述べた。

今回の寄贈について浦添・西原支部の根保直樹副支部長は「医療従事者の人たちに対して支部の思いを寄贈という形で示すことができた。熱中症には気をつけて頑張ってもらいたい」とエールを送った。



浦添市に飲料水を寄贈した



西原町にも飲料水を寄贈した

■青年部会がフォトコンテストへの応募呼びかけ(9月10日締切)

青年部会の黒島一洋部会長、宮城一文広報副委員長、安次富長邦広報副委員長らは8月20日、沖縄建設新聞社を訪れ第13回フォトコンテストへの作品応募を呼びかけた。

同コンテストは、青年部会が建設業の「活力」「魅力」について写真を通じて発信し、一般県民に建設業の理解とイメージアップを図ることを目的に開催している。宮城広報副委員長は「去年は学生からの応募が増加したが、今年はまだ応募が少ない」と現状を指摘。安次富副委員長は「締切日に応募が集中する傾向にあるが、建設業に携わる人も応募してほしい」と述べた。

黒島部会長は「今年で青年部会は創立30周年という節目の年を迎える。フォトコンテストを楽しみにしている人も多く、たくさん応募してもらいた



(左から)安次富副委員長、黒島部会長、平良社長、宮城副委員長」と呼びかけた。沖縄建設新聞の平良敏昭社長は「参加者が増えることで幅広い作品が集まる。多くの作品が集まり建設業のイメージアップを図ってほしい」と期待を寄せた。応募は9月10日までで、11月15日に県庁で表彰式を行う予定。

建設現場の管理者、労働者の皆様へ

建設現場における熱中症予防と新型コロナウイルス感染防止 ～建設現場におけるマスク等の正しい選び方、使い方について～

建設現場で必要な対応

混在作業が行われる建設現場では、マスク等の着用も含め、一人ひとりの感染防止に向けた対応が職場全体の感染リスクを抑えることにつながります。

換気の悪い屋内空間において複数人で作業を行う場合にはマスク等を着用する必要がありますが、**単独作業の場合や屋外で他の作業員と十分な距離（2m以上）が確保できる場合などでは、熱中症予防の観点からマスク等を外した方がよい場合も考えられます。**

熱中症予防に配慮した上で、感染防止を図るには、「**マスク等を着用する場面**」、「**マスク等の選び方**」、「**正しい着用方法**」を作業員一人ひとりに徹底することが重要です。

1 作業に応じたマスク等の選び方

① マスク等の種類と特性

マスク等は、飛沫の飛散防止、飛沫の吸入防止のために着用するものですが、様々な種類のものがあります。市販の不織布マスクをはじめ、一般に使用されているマスク等を建設現場で使用することを想定した場合の特性をまとめると次のとおりです（※1）。

「◎：優れている」、「○：良好」、「△：普通」、「×：やや劣る」

	顔面への密着	フィルタの密度	飛沫吸引防止	飛沫飛散防止	呼吸しやすさ	快適さ/蒸し暑さ
不織布マスク	△	◎	○	◎	×	△
布マスク	△	△～○	△	○	△	△
ウレタンマスク	△	△	△	○	△	○
マウスシールド	×	×	×	×	◎	◎
フェイスシールド	×	×	×	△	◎	◎
ネックガード	△	△	△	○	○	○
取替え式防じんマスク(※2)	◎	◎	◎	◎	×	×
使い捨て式防じんマスク(※2)	○	◎	◎	◎	×	△

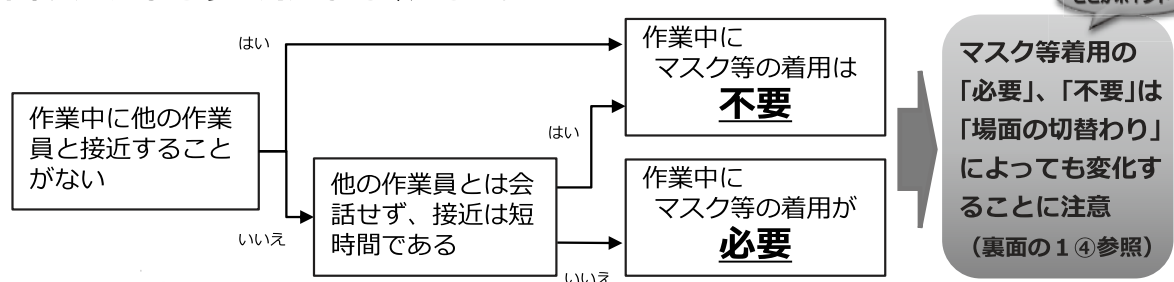
（※1）令和2年度厚生労働科学特別研究事業「建設現場での作業等におけるプロテクタの選定・使用ツールキットの開発に関する調査研究」をもとに作成したもので、調査研究は一部の製品を対象として測定を行った結果を取りまとめたものであり、個々の製品によっては上記の表とは特性が異なる場合があります。

（※2）一定の作業の際は、労働安全衛生関係法令に基づき、防じんマスクの着用が義務付けられています。

② マスク等を着用すべき場面

建設現場における作業は、単独作業や他の作業員と十分な距離（2m以上）をとって行われる場合がある一方、「朝礼」や「作業工程の確認」などのほか、「休憩・食事」、「工事用エレベータでの集団での移動」など、作業員同士が近くに集まる場面もあります。

管理者は、個々の作業が行われる状況を踏まえ、**マスク等を着用すべき場面を特定し、作業員一人ひとりに周知してください。**



③作業負荷とマスク等着用による熱中症リスク

マスク等の着用による新型コロナウイルスの感染防止効果や熱中症発症リスクについては、現時点では定量的に明らかになっていませんが、令和2年度に実施した研究(※)の結果、以下のようなことが分かっています。

- ①マスク等の着用により呼吸時の負担感が増加し、飛沫飛散防止等の効果が高いものでは息苦しさを強く感じる
- ②軽い負荷の運動では、マスク等の有無により深部体温の上昇には差がない
- ③マスク等の内部の「酸素濃度の低下」、「二酸化炭素濃度の上昇」が見られた(軽い負荷の運動では血液中のガス濃度に影響はないが、高負荷作業には注意が必要)

(※) 令和2年度厚生労働科学特別研究事業「建設現場での作業等におけるプロテクタの選定・使用ツールキットの開発に関する調査研究」

④マスク等の選定に当たっての考え方

○ マスク等の選定に当たって考慮すべき事項

飛沫飛散防止等の効果が高いマスク等を着用していても、作業中の息苦しさを和らげるため、顔とマスク等との間に隙間を作った場合には感染防止効果が低下します。

マスク等の選定に当たっては、①作業負荷のほか、②作業時の人との距離、③作業場所の状況、④連続作業時間、⑤コミュニケーションの取りやすさなどにも留意しましょう。

○ マスク等が必要な場面への備え

休憩や昼食、作業連絡、車両やエレベータでの移動などの際に他の作業員と十分な距離が確保できない場合には、マスク等の着用が必要になります。マスク等の着用が不要な作業であっても、「場面の切替わり」に備え、マスク等を携帯しましょう。

⑤マスク等の着用状況と接触感染

マスク等を着用しない、又は飛沫飛散防止効果が低いマスク等を着用して作業を行った場合、作業対象や工具等に飛沫が付着する可能性が高まります。複数の作業員が共用する工具等や操作盤などについては接触感染防止のため、こまめに消毒しましょう。

2 マスク等の正しい付け方と効果

作業中の息苦しさを「あごに掛ける」、「鼻を出す」など、正しい方法で着用しなかった場合、マスク等の感染防止効果が低下します。マスク等は正しい方法で着用し、息苦しさを感じた場合にはマスク等を外せる環境で休憩をとるようにしましょう。



3 現場管理者の役割

①計画段階での検討

計画段階から、換気の悪い室内での作業や作業員同士が接近する機会を減らすよう努めましょう。

(例) 朝礼の工夫、作業時間帯や休憩時間の分散、マスクを外せる休憩場所の確保等

②現場でのルール化

熱中症予防と感染防止に向けた現場のルールを定め、徹底しましょう。

(例) マスク等を着用すべき場所の掲示、休憩場所の使い方、職場外での留意事項等

R3.5

沖縄県内の公共工事動向 (令和3年7月分)

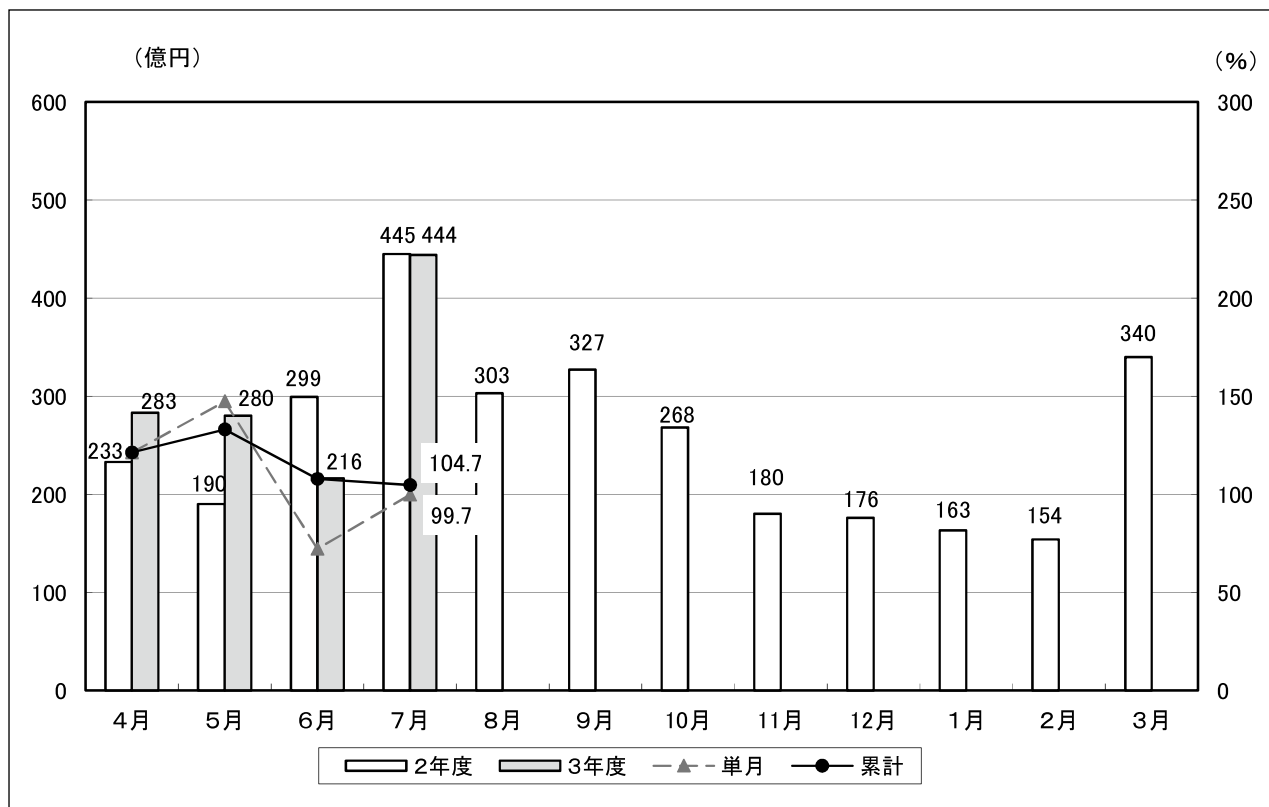
西日本建設業保証 (株) 沖縄支店

▼ 概況

(単位：件、百万円、%)

	当 月		前年同月比		累 計		前年同期比	
	件数	請負金額	件数	請負金額	件数	請負金額	件数	請負金額
国	69	23,154	95.8	89.4	177	49,945	82.3	107.2
独立行政法人等	3	244	100.0	163.4	14	3,674	200.0	147.5
沖縄県	72	5,835	66.7	78.0	264	22,773	92.6	90.0
市町村	201	14,601	95.3	137.6	496	40,707	94.5	106.4
その他	13	604	100.0	134.7	43	5,357	95.6	123.2
令和3年度	358	44,439	88.0	99.7	994	122,457	92.3	104.7
令和2年度	407	44,577	104.1	85.9	1,077	116,968	101.5	105.6
令和元年度	391	51,900	100.0	194.2	1,061	110,725	103.0	122.1
平成30年度	391	26,729	93.1	59.4	1,030	90,701	93.6	80.0
平成29年度	420	45,031	99.5	131.8	1,101	113,444	100.2	126.7

▼ 月別請負金額、単月・累計前年対比の推移



人材開発支援助成金の案内

人材開発支援助成金は、労働者の職業生活設計の全期間を通じて段階的かつ体系的な職業能力開発を効果的に促進するため、事業主等が雇用する労働者に対して職務に関連した専門的な知識及び技能の習得をさせるための職業訓練などを計画に沿って実施した場合に、訓練経費や訓練期間中の賃金の一部等を助成する制度です。企業の人材育成と労働者の職業能力開発のために、ぜひ、ご活用ください。

～申請の前に～

事業主は、職業能力開発促進法第8条において、その雇用する労働者の多様な職業能力開発の機会の確保について配慮するものとする、とされています。職業能力開発促進法では、それら労働者に関する職業能力の開発及び向上が段階的かつ体系的に行われるよう、「**職業能力開発推進者**」の選任と「**事業内職業能力開発計画**」の策定を、事業主の努力義務としています。

人材開発支援助成金では、**従業員の計画的な職業能力開発に取り組む事業主等を支援するため、この「職業能力開発推進者」の選任と「事業内職業能力開発計画」の策定をしている事業主等を対象としていますので、訓練実施計画届の提出までに選任・策定を行っていることが必要です。**

※選任・策定後の内容の変更に係る届出等は不要です。

人材開発支援助成金

特定訓練コース … 若年者に対する訓練、労働生産性の向上に資する訓練など、効果が高い 10 時間以上の特定の訓練や、「OJT」と「OFF-JT」を組み合わせた訓練を行った場合に支給される助成コースです。各コースの詳しい要件等は下記・お問い合わせ先にご確認ください。

- ①労働生産性向上訓練
- ②若年人材育成訓練
- ③熟練技能育成・承継訓練
- ④グローバル人材育成訓練

OFF-JT

(OFF the Job Training)により行われる訓練

事業活動と切り離して座学などにより行う訓練で、**事業内訓練または事業外訓練**で計画する必要があります。

- ⑤特定分野認定実習併用職業訓練
- ⑥認定実習併用職業訓練

雇用型訓練

OJTとOFF-JTを効果的に組み合わせて実施する訓練

実習併用職業訓練として**厚生労働大臣の認定**を事前に受けておく必要があります。

お問い合わせ先

沖縄労働局職業安定部
職業対策課
助成金センター
TEL: 098-868-1606
FAX: 098-868-1612

一般訓練コース … 職務に関連した知識・技能を習得させるための 20 時間以上の OFF-JT 訓練を行った場合(特定訓練コースに該当するもの意外)に支給される助成コースです。

支給対象となる訓練		経費助成		賃金助成 (1人1時間当たり)		OJT実施助成 (1人1時間当たり)	
			生産性要件を 満たす場合		生産性要件を 満たす場合		生産性要件を 満たす場合
特定訓練コース	OFF-JT	45% (30%)	60% (45%)	760円 (380円)	960円 (480円)	—	—
	OJT	—	—	—	—	665円 (380円)	840円 (480円)
一般訓練コース	OFF-JT	30%	45%	380円	480円	—	—

※認定実習併用職業訓練において、建設業、製造業、情報通信業の分野(特定分野)の場合は経費助成率が60%、生産性を満たす場合は75%となります。

〈各コースの申請期限〉

○訓練実施計画(訓練様式第1号)

→訓練開始日から起算して1カ月前までに提出するようお願いいたします。(厳守)

例: 訓練開始日が7月1日である場合、6月1日が提出期限

訓練開始日が7月15日である場合、6月15日

訓練開始日が7月31日である場合、6月30日(6月31日がないためその前日)

訓練開始日が9月30日である場合、8月30日(前月の同日が期限)

訓練開始日が3月29日、30日、31日である場合、いずれも2月28日(閏年は2月29日)

※新たに雇い入れた被保険者のみを対象とした訓練等雇い入れ日から訓練開始日までが1カ月以内である訓練等の訓練実施計画届の提出期限については、訓練開始日から起算して原則1カ月前です。

※訓練実施計画届提出時において、提出が困難な添付書類がある場合は、その旨を申し出た上で訓練開始日の前日までに提出して下さい。

Message ～後輩たちへ～

大変な思いを経て、やりがいと達成感

「建設業は大変そう」というイメージは大半の人が思っていると思います。業者さんとの日々の打ち合わせ、工程管理等、知恵を絞りだして大変な思いを経て工事が完成した際はそれ以上にやりがいと達成感を感じます。

分からないことは現場の先輩や職人さんたちに聞き、教えてもらったことはメモすることが大事です。

担当した現場



那覇港（泊ふ頭地区）臨港道路（港湾1号線）（改良）橋梁下部補強工事
那覇空港土木施設維持修繕工事



沖縄工業高等学校出身
金城 優人さん(21歳)
(株式会社鏡原組 技術管理部)

さんじょう・ゆうと／那覇市出身／2019年3月沖縄工業高校卒業／2019年4月株式会社鏡原組入社

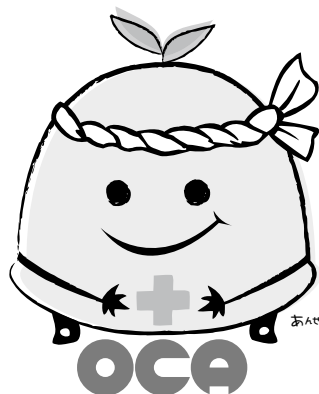
入職のきっかけ:高校の授業で土木工事に関する内容を学んできました。授業の一環で工事現場の説明会で実際に動いている現場を見たとき、現場で作業している重機や作業員、それを指示している現場の技術者を間近で見ると興味を持ち、この業界で働いてみたいと思いました。

将来の夢:経験と知識を身に付け、自分の仕事の幅を広げ何を聞かれても適切に答えられるようになり、1級土木施工管理技士の資格を取得したいです。

休日の過ごし方:休日は、友達とドライブしたりして遊んでいます。

沖建協「見える化」イメージアップキャラクター 「あんぜんぼーや」を現場へ!!

地域と共に、未来を築く



Okinawa General Contractors Association

あんぜんぼーや

私たちは、沖縄県建設業協会会員です。



一般社団法人 沖縄県建設業協会



建設業界のイメージアップと沖縄県建設業協会会員の「見える化」を図るため、協会のイメージアップキャラクター「あんぜんぼーや」のシールを作成しました。(A4サイズ、A3サイズ)

協会会員が施工する建設現場の出入り口など人目に触れる機会の多い場所に貼って、協会会員であることを示すPR活動に使用してください。

追加が必要な場合は、所属支部窓口で配布します。

2021年8月の動き

日	曜	沖建協・建産連・土木技士会・青年部会等	その他会議・講習会等
2	月	・沖建協「工業高校生対象建設業経理事務士4級特別研修」～8/3(火)迄(建設会館)	・沖縄県「沖縄県総合防災訓練専門部会(ライフライン部会)」(Web)
3	火	【中止】沖建協「工業高校生対象小型車両系建設機械運転特別教育(八重山地区)」～8/4(水)迄(八重山農林高校) ・沖建協「工事総合補償制度運営委員会」 (沖建協委員会室)	
4	水		【中止】沖縄県経済団体会議「本会議」(那覇市)
5	木	・沖建協「工業高校生対象小型車両系建設機械運転特別教育(沖縄工業・美来工科)」～8/6(金)迄 (海邦町センター)	・沖縄県「新型コロナウイルス感染症の影響に係る経済対策関係団体会議(幹事会)」(Web)
11	水	【中止】沖建協「工業高校生対象小型車両系建設機械運転特別教育(沖縄工業)」～8/12(木)迄(海邦町センター)	
13	金	【延期】沖建協「不当要求防止責任者講習」 (建労センター)	
16	月	・沖建協「1級土木施工管理技術検定試験(2次)受験準備講習会」～8/17(火)迄(建労センター)	・沖縄の土木技術を世界に発信する会「運営会議」(Web)
17	火	・沖建協「工業高校生対象小型車両系建設機械運転特別教育(宮古高校・宮古総業)」～8/18(水)迄(宮古地区)	
18	水	・沖建協「1級建築施工管理技術検定試験(2次)受験準備講習会」～8/19(木)迄(建労センター)	
23	月		・沖縄総合事務局「財政講演会-我が国の財政について(仮称)-」(Web)
24	火	・沖建協「工業高校生対象建設業経理事務士3級特別研修」～8/26(木)迄(建設会館) 【延期】沖建協「沖縄県土木建築部との意見交換会」 (県庁)	・沖縄県「新型コロナウイルス感染症の影響に係る経済対策関係団体会議(本会議)」(Web)
25	水		【中止】沖縄県「美ら島レスキュー2021第2回訓練説明会」 (Web) ・全国建産連「総務企画委員会」(Web) ・全建「地域懇談会・ブロック会議の運営打合せ」 (Web)
26	木		・沖縄総合事務局「建設業社会保険推進・処遇改善沖縄地方連絡協議会」(Web) 【中止】九建協「土木委員会」(大分県)
27	金		・沖縄県振興審議会「基盤整備部会」(那覇市) 【中止】九建協「建築委員会」(大分県) ・沖縄県生コンクリート品質管理監査会議(那覇市)

2021年9月の行事予定

日	曜	沖建協・建産連・土木技士会・青年部会等	その他会議・講習会等
1	水		・磁気探査試験合否判定委員会(那覇市)
2	木		・建設業振興基金「監理技術者講習会」(浦添市) ・沖縄県「新型コロナウイルス感染症対策緊急合同会議」 (web)
3	金	・沖建協青年部会「役員会」(建労センター)	【中止】九建協「労務対策委員会」(大分県)
6	月		【延期】労働局等「経済団体に対する障害者雇用の要請」 (那覇市)
7	火	・沖建協「遠隔臨場実践研修」(建設会館)	

2021年9月の行事予定

日 曜	冲建協・建産連・土木技士会・青年部会等	その他会議・講習会等
8 水	・冲建協「総合的IT活用研修」～9/10(金)迄 (建労センター)	・沖縄県教育委員会「沖縄県産業教育推進のための研究協議会」(web)
9 木		・九建協「専務・事務局長会議」(web) 【中止】沖縄県「美ら島レスキュー2021」～9/10(金)迄 (那覇市 他) ・沖縄県振興審議会「基盤整備部会」(web)
12 日		・建設業振興基金「建設業経理士検定試験」(宜野湾市)
14 火	・冲建協「正副会長会議」「役員会」「総務委員会」 (ダブルツリーbyヒルトン那覇首里城)	
15 水		【中止】全建「協議員会」(東京都) ・建退共本部「加入促進対策委員会」(東京都)
22 水	・冲建協青年部会「フォトコンテスト一次審査会」 (建労センター)	
27 月		・全国建産連「会長会議」(東京都)
30 木	・冲建協「雇用改善推進委員会」(ナハテラス)	

[9月号会員の異動]

新入会員

支部名	中部支部
会社名	有幸地建設
代表者名	幸地 俊郎
設立	昭和52年10月25日
入会日	令和3年8月2日
郵便番号	〒904-2153
所在地	沖縄市美里6-3-8
TEL	098-937-5369
FAX	098-934-6378



冲建協会報 2021年9月号 (第616号)
令和3年9月1日 発行
発行人 源河 忠雄

発行所 一般社団法人 沖縄県建設業協会
〒901-2131 沖縄県浦添市牧港5-6-8
TEL.098 (876)-5211
FAX.098 (870)-4565
編集 株式会社沖縄建設新聞

建退共制度のご案内

この制度は、建設現場で働く方々のために、「中小企業退職金共済法」という法律により国が作った退職金制度です。

事業主の方は、現場で働く方々の共済手帳に働いた日数に応じて、掛金となる共済証紙を貼り、その労働者が建設業界で働くことをやめたときに、建退共から退職金を支払うといういわば業界全体での退職金制度です。

I. 退職金の予定運用利回り掛金日額の変更について

新型コロナウイルス感染症拡大に端を発する金融市場の大幅な変動等により、建設業退職金共済制度の累積余剰金が減少し、今後も厳しい状況が見込まれていることから、中小企業退職金共済法第85条において検討することとされている、建設業退職金共済制度の退職金額に係る予定運用利回りの見直し等について、労働政策審議会勤労者生活分科会中小企業退職金共済部会において検討されました。

そこで、運用利回りの見直しについては、制度の魅力を維持しながら、できるだけ制度の安定的な運営を図るべく、予定運用利回りを現行の3.0%から1.3%に引き下げることとなり、その際、制度の魅力を損なわないように掛金日額を10円引き上げて320円とすることも併せて決定されました。

II. 公共工事における建退共制度の履行確保について

1. 電子申請方式の推進

電子申請方式は、掛金の納付状況が共済契約者及び労働者ごとに毎月正確に把握できるため、掛金の納付実態が透明化され、適正な掛金納付の推進に寄与するものであることから、電子申請方式の普及及び利用促進を図る。

2. 建退共対象労働者の的確な把握と対象労働者に対する確実な掛金充当の推進

共済契約者が建退共対象労働者数を的確に把握するため、従来実務上使用される例のあった「辞退届」に代わるものとして、機構が「建設業退職金共済制度加入労働者数報告書」の様式を定める。

3. 履行確認の強化等

(1) 受注者は、掛金収納書の提出用台紙(新設)に当該工事における共済証紙購入の考え方を記載し、発注者に提出するものとする。

(2) 受注者は、工事完成後、労働者延べ就業日数、建退共の掛金充当日数等を示す「建設業退職金共済制度掛金充当実績総括表」(新設)を発注者に提示するものとする。

(3) 受注者は、工事完成後1年間、次の①、②及び③の資料を事務所に備え付けるものとする。資料の事務所への備え付けは、電磁的記録をもって行うことができるものとする。

①建設業退職金共済制度掛金充当実績総括表

②建退共の掛金充当状況を示す資料

イ 電子申請方式の場合：機構が発行する掛金充当書

ロ 証紙貼付方式の場合：工事別共済証紙受払簿(新設)並びに建退共制度に係る被共催者就労状況報告書及び建設業退職金共済証紙貼付状況報告書

③労働者の就労状況を示す資料

作業員名簿(CCUSを活用すれば、作業員名簿は容易に作成可能)

4. 実施時期

履行確認の強化等については、令和3年4月以降に発注される公共工事から実施する。なお、工事別共済証紙受払簿(新設)については、令和3年度内においては、受注者の準備が整い次第実施する。

国の制度 **6** つの特長

1 国の制度なので安全確実かつ簡単

2 退職金は企業間を通算して計算

3 国が掛金の一部を補助

4 掛金は損金扱い

5 経営事項審査で加点

6 電子申請で手続き可能

●お問い合わせは 〒901-2131 沖縄県浦添市牧港五丁目6番8号

建退共沖縄県支部 電話 098-876-5214



高校生向け動画「CCUSを知っていますか」をアップロードしました

- CCUSについて若い世代(主に高校生)に知って頂くためのアニメーション動画「CCUSを知っていますか」を、YouTubeのCCUSチャンネルにアップしました。工業高校生の男女二人が、建設会社に就職後、在学中に取得した資格等を活かしキャリアアップしていく過程や若い職人がゴールドカードを目指しつつ仕事に励む様子を紹介しています。
- 企業や業界団体が開催するイベントや各種説明会において、若い世代や父兄の方々にCCUSを紹介していただく際には是非ご活用ください。
- また、現場のデジタルサイネージ等で上映しやすい3分間のCCUS概要動画「建設キャリアアップシステム」及び「CCUS(建設キャリアアップシステム)を知っていますか？」(約4分半)も併せてご活用いただくと幸いです。
- YouTubeのCCUSチャンネルでは、今後、CCUS関連の情報提供やCCUSを積極的に導入している企業の紹介などに積極的に取り組んで参りますので是非、チャンネル登録をお願いいたします。



トピック

CCUS技能者登録者数が60万人を超えました。
令和3年7月末現在の技能者登録数632,633、事業者登録数126,256



建設キャリアアップシステムに関するお問い合わせはHPのお問い合わせフォームをご利用願います。



工事後半の資金繰りをサポート! 中間前払金のご案内

当初の前払金

40%

+

中間
前払金

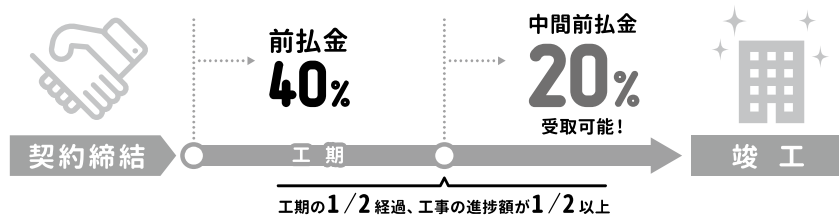
20%

簡単な手続きで工事代金を早く受け取れます!

中間
前払金
とは?

当初の前払金(請負金額の40%)に加え、
さらに請負金額の20%を受け取れます。

工期が長くても
安心ね!



よくある質問 Q & A

Q どのような場合に請求できるの?

A 工期の1/2を経過し、工事の進捗額が1/2以上となった
場合です。

Q 出来高検査はあるの?

A 部分払いのような出来高検査はなく、現場を止める必要
はありません。

Q 手続きは面倒じゃないの?

A 手続きは簡単です。当社に次の書類をご提出ください。
●保証申込書 ●前払金用途内訳明細書
●発注者が発行する認定調書(写)

Q 保証料はどれくらいかかるの?

A 保証料率は一律0.065%と非常にローコストです。

一例▶ 請負金額5,000万円の場合

中間前払金1,000万円×0.065%▶保証料 6,500円

対象発注者、対象工事等につきましては、お気軽に当社へお問い合わせください。

西日本建設業保証株式会社 沖縄支店

〒901-2131
沖縄県浦添市牧港五丁目6番8号(沖縄県建設会館3F)

TEL 098-876-1981 [営業時間(平日)] 9:00 ▶ 17:00

FAX 0120-441-455

西日本建設業保証

検索

<https://www.wjcs.net/>



CIIC 経営状況分析



事務所から！

電子申請

自宅から！



申請書作成～申請～結果受け取り
そのパソコンで、ぜんぶできます！

CIIC 電子申請の流れ



1 作る

らくらく
申請書作成！

無料申請ソフト
なんでも経審Plus
で分析申請書・財務
諸表など申請書類を
入力し、電子申請デー
タを作成します。

どなたでも、いますぐ無料で使える！

許可・経審・分析申請書作成ツール

なんでも経審Plus

- ・自動バージョンアップ機能
- ・担当者間のデータ共有
- ・評点計算シミュレーション

2 送る

送付0日！

登録無料CIICマイページから電子申請データを送信し、
申請完了！マイページからネットバンキングやペイジー
のお支払い手続きもOK！

3 受け取る

お届け0日！



「e 結果通知で受け取る」を選択
すれば、分析完了後マイページか
ら結果通知書を受け取り、印刷できます。

※申請データ送信後、直ちに分析が完了するわけではありません。

令和4年度 建設業許可・経営事項審査の電子申請 開始予定

国土交通省では、令和4年度に建設業許可・経営事項審査の電子申請システムの運用を開始する予定です。
申請手続きの電子化により、申請者・許可行政庁双方の事務負担の軽減を目的としています。

経営状況分析は“信頼と実績”の **登録経営状況分析機関 登録番号 1**

【アドレス】 <http://www.ciic.or.jp/>

又は、CIIC

CIIC 一般財団法人 建設業情報管理センター 西日本支部

〒540-0005 大阪府大阪市中央区上町A番12号(上町セイワビル9階)

【お問い合わせ】 近畿地区 Tel. 06-6767-2801 中国・四国地区 Tel. 06-6767-2802

九州・沖縄地区 Tel. 092-483-2841

当財団は、情報セキュリティ
マネジメントシステム(ISMS)
に関するISO規格(27001)の
認証を取得しています。



みんなですべてよう安心を。

労災上乗せ補償は

建設共済 保険

契約者に役立つ制度充実

掛金が魅力
手厚い補償
(5,000万円まで)

労働者と企業のリスクをカバー



「建設共済保険」の他にも、次のような事業を行っています。

育英奨学事業

被災者(死亡および障害・傷病3級以上)の子供に対して、要保育期間および小学校から大学までの在学期間中、返済不要の奨学金を継続して給付。

労働安全衛生推進事業

- ① 安全衛生用品の頒布
- ② 女性専用トイレ・更衣室導入費用の助成
- ③ 安全衛生推進者表彰 等

公益財団法人 建設業福祉共済団

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-2-8 虎ノ門琴平タワー11階
Tel.03-3591-8451 Fax.03-3591-8474

■ 取扱機関：(一社)沖縄県建設業協会
〒901-2131 浦添市牧港5-6-8
Tel. 098-876-5211 Fax. 098-870-4565



契約者と業界の発展のために

<http://www.kyousaidan.or.jp/>

建設共済保険

検索



全国労働衛生週間

向き合おう！
こころとからだの健康管理

2021年
10月1日～7日
準備期間 9月1日～30日



 建設業労働災害防止協会

 建設業労働災害防止協会